

わたしが思う「平和」

長岡市立南中学校 2年 五十嵐 優来

「平和とはなにか。」わたしは10人にこの質問をして10人から同じ回答が返ってくるとは思えません。なぜなら平和の定義や考え方は人によってまったく違うと思うからです。

今、世界では様々なところでいろいろな理由から起こった争い、戦争が起きています。戦争のせいでたくさんの罪のない人の命が奪われ、自分は生き残っても大切な人を失ったり、やりたいことがあってもやるのが難しい環境にいる人もいるかもしれません。やりたいことができたとしても身近で戦争が起こっている、大切な人が死んでしまった、自分も死んでしまうかもしれない、そんな環境では安心して生活すること、やりたいことをすることはできません。その環境にいることを、わたしは平和とは言えないと思っています。例えば、ものづくりの才能があったとして、ものを作る道具やものを作ることを認めてくれる環境がなければ作れるものも作れません。自分の意見を持っていたとしても意見を言うことが許される環境ではなかったり、昔、意見を言ったことで嫌な言葉をぶつけられた経験があったとしたら、自分の意見を言う事をためらってしまいます。本来持っている力や気持ちも環境が整っていなければ100%力を発揮することや、なにかを伝えることは難しいです。だからこそわたしは、平和とは「安心してやりたいことができたり、言えたりすることができる環境」があることだと考えています。

ですが、戦争や争いは人によって考え方や平和の定義が違うことから起こるものです。争いをなくすことは不可能だと思います。なぜなら、争いは自分の考え方、正義を証明するために起こるものだからです。ですが、その対立を暴力や人を傷つけることで終わらせてしまうのはとても悲しいことだと思います。そのせいで、人が傷ついたり亡くなってしまうことがあったとしたら、それはもう平和とも正義とも私は思えません。だからこそ、わたしは人を傷つけて自分の考えを証明するのではなく当事者同士の交渉、第三者の仲介など、状況に応じて時間がかかるから争うのではなく、当人たちが納得する平和的な方法を探し続けることが大切だと思います。

先日、学校で行った平和巡検で戦争のこと、長岡空襲のことについて学ぶことができました。そして平和の大切さについて更に考え、もともと思っていた戦争がなくなってほしいという気持ちがいっそう強くなりました。わたしは、平和の大切さをいろいろな人に広めていきたいと思いました。そのためには、まず自分で平和とはなにか、どうすれば平和になるかをしっかり考えていきます。そして、誰かが自分と意見や考え方が違うからと言ってその人を避けたり対立するのではなくその人の意見を聞いて自分の考えを深めることができるような人間になりたいです。